

2. 医療的ケア児等コーディネーターの配置状況等

(2) 医療的ケア児等コーディネーターの活動状況

市町村名	活動内容		活動上の成果や課題
	概要	詳細	
名古屋市	医療的ケア児の退院時カンファレンスの参加	・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。	
豊橋市	・協議の場への参加 ・圏域内のコーディネーターの勉強会への参加	・協議の場で地域課題への提言。 ・医療的ケア児への個別ケース検討会に参加し、助言。 ・圏域内のコーディネーターの勉強会で、各自の活動状況等の情報交換を行った。	医療的ケア児への社会資源や支援の状況について課題の明確化ができた。 実態調査を行うことで、住民の全体像がおおむね把握できた。 保健師・相談支援専門員が医療的ケアコーディネーターを実施しているが、役割の明確化ができておらず、切れ目ない支援を実施していくうえで課題がある。
岡崎市	・協議の場への参加 ・個別支援会議への参加 ・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加	・協議の場で地域課題の提言を行った。 ・医療的ケア児の相談支援 ・医療的ケア児が退院する際、医療機関からの要請に応じて障がい福祉サービスに繋ぐ等支援を行った。	・協議会の場を活用し、関係機関の連携が進んだ。 ・医療的ケア児の受け入れができる社会資源が少ない。 ・関係機関により医療的ケア児支援に対する温度差がある。
一宮市	・協議の場への参加 ・個別支援会議への参加 ・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加	・協議の場で地域課題への提言や、情報交換を行った。 ・個別支援会議へ参加し、関係課との調整を行った。 ・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加した。	・医療的ケア児の退院カンファレンスへ参加し、関係機関との調整を行うことができた。
瀬戸市	・協議の場への参加 ・退院カンファレンスへの参加 ・相談支援専門員×コーディネーターとして、個別支援会議への参加 ・自立支援協議会への参加、協議の場の設置に向けた調整 ・相談支援専門員×コーディネーターとして、保健センター・医療機関・訪問看護ステーション・保健所等、主に医療・保健分野との連携 ・コーディネーターが参加する圏域会議への参加	・協議の場発足のための意見交換会へ参加した。 ・医療機関でのケース連絡会議へ出席し、関係機関との連携を持った。 ・主に医療・保健関係者からの要請に応じ、福祉の立場での助言やサービス調整、全体のコーディネート業務を行った。 ・保健センターからの要請に応じ、母子保健を担当する職員に対して福祉制度や最近の動向、コーディネーターの役割等について講義を行った。 ・瀬戸保健所が開催する「慢性疾患児地域支援会議」や県地域福祉課が開催する「障害保健福祉圏域会議」にコーディネーターとして参加し、市外の関係者との情報共有や連携を深めた。 ・行政等と連携し、対象児・者の把握を行った。 ・協議の場の設置に向け、市内にいる4名のコーディネーターと共に、医療的ケア児・者に関わる医療・保健・福祉・教育の実務レベルでの関係者に参加を要請し、意見公開会を開催。それぞれの現場で把握している課題を地域レベルで共有し、今後に向けたアイデア出しを行った。	・関連機関との顔合わせを行い相談しやすい関係性構築に向け動き始めた。 ・退院翌日からの訪問など、早期介入を行うことができた。 ・元々、市内では顔の見える関係性がある程度築かれていたが、コーディネーターとしての肩書を持つことにより、参加できる場が広がり、市外の関係者とも繋がることになった。 ・福祉以外の分野の関係者から福祉制度を知りたい・活用したいとの要望が増え、繋がるケースが増えた。 ・重心ではない、いわゆる“歩くことができる医療的ケア児”のケースを担当しているが、学校以外の日中の居場所や短期入所で利用できる社会資源が非常に少なく、受け入れ先を確保するには例外的な対応を依頼せざるを得ない。(受け入れを行う事業所に対しては、例外的な対応に見合う十分な報酬が設定されていない)また、医療的ケアが必要な未就学児は保育の多様な選択肢が不足している。 ・協議の場を設置するにあたり、地元医師会・同じ医師会圏域の市と共に設置する予定だったが、関係機関の足並みが揃わず設置が進まない為、本市単独での設置(障害者地域自立支援協議会こども未来部会)を検討中。 ・意見交換会では、福祉や教育の実務者レベルでの医療的な知識を学ぶ場が欲しいとの要望があり、訪問看護ステーションの協力を得て開催することを検討中。
半田市	・協議の場への参加 ・個別支援会議への参加 ・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加 ・医療機関との情報共有 ・圏域会議への参加 ・個別支援計画の策定	・協議の場で地域課題への提言や、新規事業案についての提案を行った。 ・市役所内の個別支援会議へ参加し、関係課との調整を行った。 ・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。 ・必要に応じて医療機関へ連絡するなど情報共有を図った。 ・圏域会議で、課題の提言や情報交換を行った。 ・保護者と必要な福祉サービスを調整し、個別支援計画を策定した。	・医療的ケア児の保育を保障するため、新規事業(以下2事業)を実施することとなった。 ①令和元年度9月から居宅訪問型保育事業を実施。 ②令和2年度から看護師派遣事業を実施。
春日井市	協議の場(地域自立支援協議会の下部組織)の運営	協議の場の司会、進行等の運営を行った。	関係者により事例を共有することで、実態把握を行うことができた。
豊川市	①協議の場への参加 ②個別支援会議への参加 ③事例検討の実施 ④関係者への周知・研修の実施 ⑤その他	①保健所主催「小児慢性特定疾病児童等関係機関連携会議」にて医ケア児の就園・就学についての意見交換 自立支援協議会医療的ケア部会にて事例、課題について報告 同く自立支援協議会相談支援事業所会議や運営委員会においても事例・課題の報告 ②他相談支援専門員が担当する児童のケースにコーディネーターとして関わり必要な連携や情報提供、同行、助言等を行った ③市内委託・指定事業所が一堂に会する事例検討会にて、担当相談支援専門員と具体的事例について互いの役割や行った事、そこから見えた地域の課題等について報告・共有を行った ④豊川市地域医療連携協議会の中の退院調整担当者会議に参加 呼吸器の研修Gに所属し地域の福祉・医療関係者94名対象に動けるケア児の具体的事例、地域課題について報告 ⑤豊川市保健センター「とことこの集い」参加、難病ネット「重心サロン」参加	【成果】 ・これまで主に重症心身障害児者で医療的ケアの必要がある方々の対応をしてきたが、昨年2月からは「動けるケア児」も担当することとなり、実際の子どもの様子や家族が困っていること等を他の支援者等にリアルに伝えることができ、関心を持っていただけた。 ・医療的ケア部会の立ち上げ部会を開催したことや、会議等にコーディネーターとして出席したことで、なかなか直接的な関わりを持ていなかった方たちと連絡が取りやすく、気軽に声をかけていただける関係ができ始めている。 ・医療的ケア部会での共有、周知にとどまらず、具体的な対策についても検討を始めることができていく。 【課題】 ・いち指定の相談支援事業所の相談支援専門員という立場で、コーディネーターとしての名前はいただけてもその業務に対する保証がされていないことでの動きずらさはあった。 ・地域課題としては「動ける医ケア児の療育や預かり先や通園先が確保できず、母親が働くことや休息をとることが難しい」「医療依存度が高いことで移動手段の確保が難しく、家から外に出ることが難しい」「緊急時に対応できる手段を確保することが難しい」といった点があった。
津島市	・協議の場への参加	・協議の場へ参加し、意見交換等を行った。	・市内在住の医療的ケア児者が抱える課題等を把握し、検討していくことが課題
碧南市	・協議の場への参加 ・個別支援会議への参加 ・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加	・自宅での個別支援会議へ参加し、関係課との連携や災害時の対応、今後の課題についての意見交換を行った。 ・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。	

市町村名	活動内容		活動上の成果や課題
	概要	詳細	
刈谷市	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援会議およびケースカンファレンスへの参加 医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加 圏域内の医療ケア児支援者情報共有会への参加 圏域内の医療的ケア児支援者の研修会・勉強会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 医療的ケア児の個別支援会議およびケースカンファレンスに参加し、個別の課題と支援方針を整理確認し、行政・関係機関・関係者の役割分担と調整を行った。 医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後または在宅生活が安定したのちからの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言し、関係機関及び事業所との連携・調整をはかった。 圏域内の医療的ケア児の研修・学習会へ参加し、関係機関及び事業所の連携・活動状況の情報交換を行うとともに、今後の地域課題や取り組みの方針について研修した。 ※圏域の研修会=保健所主催：医療的ケア児等関係機関連絡会議、医療的ケア児の支援体制推進研修会、難病対策地域協議会。西尾市主催：自立支援協議会医療的ケア児支援ワーキングチーム会議。各市自立支援協議会主催：子ども部会など 	<ul style="list-style-type: none"> 退院前カンファレンスに参加し、退院当初からチーム支援ができる体制が整えられた。福祉サービスをスムーズに利用でき、落ち着いた地域生活の開始につながった。 圏域内の研修・学習会で地域の課題を整理するとともに他市の取り組みを知り、それを参考に今後の支援方針を具体化できた。 そもそも「医療的ケア児支援コーディネータ」とは何か、どんな役割や機能が求められているか、今後の効果的な活用の仕組みなど、地域の行政・医療・福祉・教育の関係者の中で理解と啓発が足りない。
豊田市	<ul style="list-style-type: none"> 協議の場への参加 個別支援会議への参加 医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加 	<ul style="list-style-type: none"> 豊田市自立支援協議会医療ケアWGへ参加し、地域課題についての提言を行った。 市役所内にて個別支援会議に参加し、サービス調整や情報共有に努めた。 医療的ケア児が退院する際のカンファレンスに参加し、退院後のサービスについて提案、計画書の作成を行った。 	<p>地域の小学校へ入学するのに当たり、必要となる医療的ケアや合理的配慮について共有するため、特別支援教育コーディネーター、担任、養護教諭、栄養士など学校で本人に関わる方のほか、スクールソーシャルワーカー、訪問看護、保護者との連絡体制を構築した。</p>
安城市	<ul style="list-style-type: none"> 協議の場への参加 個別支援会議の開催・参加 医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加 医療的ケア児の支援者を対象とした研修会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 協議の場で地域課題への提言を行った。 個別支援会議を開催、または参加し関係機関との調整を行った。 医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。 医療的ケア児の支援者を対象とした研修へ参加し、各自の活動状況等の情報交換を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の医療的ケア児を含む支援が必要な方のマップ作りを開始した。 課題が多すぎて優先順位をつけるのが困難である。 学校卒業後の進路についての地域で提供できる選択肢が少ない。 個人情報の保護の関係で情報共有が難しい。
西尾市	個別支援会議への参加	個別支援会議で、医療的ケア児コーディネーター研修の受講内容を踏まえ、コーディネーターの役割を説明し、西尾市における課題を提案した。	市内の関係者間で、コーディネーターの役割と課題を共有できた。令和元年度、コーディネーター受講者は1名、平成30年度は受講者がなく1名だけの配置となっている。しかし、そのコーディネーターの経験や知識が浅いため効果のある役割が果たせないのが現状である。コーディネーターに求められるノウハウを共有できるよう、まずはコーディネーターを増やす必要がある。
蒲郡市	<ul style="list-style-type: none"> 協議の場への参加 圏域内のコーディネーター講演会等への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 協議の場で地域課題への提言や、地域の実情についての発言を行った。また、圏域内でのコーディネーター講演会等の内容の報告を行った。 圏域内のコーディネーターの講演会等で、情報収集を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> コーディネーターが情報収集していく中で、医療的ケア児であると判明したケースがあった。 コーディネーターが複数名おり、それぞれのコーディネーターの役割が定まっていない。実際に医療的ケア児と思われる方が確認された時誰が担当するのか定まっていない。 市内に医療的ケア児を受け入れられる施設がないため、コーディネートをを行うにも、紹介できる情報が少ない。 医療的ケア児が実際はどの程度市内にいるのか、全員の把握ができておらず、どのような活動をしていけばよいのか不明。
犬山市	<ul style="list-style-type: none"> 年2回(6月、11月)教育支援会議への参加 市内入学が決定した児童・生徒の会議への参加 市障害者自立支援協議会の協議の場への参加 医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加 	<ul style="list-style-type: none"> どのような進路がよいか検討 医療的ケア支援員の配置等を検討 各機関の活動状況等の情報交換を行った。また、保育園等への訪問看護導入にあたっての課題について協議した。 医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な訪問看護や福祉サービスとの調整を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 各機関の更なる連携強化が必要 各関係機関との連携につながった。 保育園等への訪問看護導入にあたっての具体的な課題をあげることができた。 退院後の訪問看護等との連携が円滑に行えた。
常滑市	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援会議への参加 医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加 圏域内の会議への参加 市内や圏域の協議の場への参加 圏域内のコーディネーターの勉強会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 市役所内の個別支援会議へ参加し、関係課との調整を行った。 医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、状況把握や関係機関との調整を行った。 市役所内の相談支援連絡協議会で、情報交換を行った。 協議の場で地域課題への提言や、新規事業案についての提案を行った。 圏域内のコーディネーターの勉強会で、各自の活動状況等の情報交換を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用できる事業所が不足している。 利用できる支援に限りがあり、今後増えることが予想されるニーズへの対応が課題。
江南市	<ul style="list-style-type: none"> 協議の場への参加 個別支援会議への参加 小児慢性特定疾病児童等関係機関連絡会議への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 協議の場で地域課題への提言等を行った。 個別支援会議へ参加し、関係課との調整を行った。 小児慢性特定疾病児童等へのガイドブック作成に携わった。 	<p>困難事例等があった場合、中心的な役割を担うこととなるが、コーディネーターの職種が社会福祉士、保育士であることから、医療的な基礎知識がないため、他職種との調整が十分にできない可能性がある。</p>
小牧市	令和2年度設置予定		
稲沢市	<ul style="list-style-type: none"> 協議の場への参加 個別支援会議への参加 医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加 	<ul style="list-style-type: none"> 協議の場で地域課題の共有。 近隣のNICUを持つ医療機関へ、医療的ケア児コーディネーターの周知の実施。 医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言。 福祉サービス未申請のケースに対する関係機関との連絡、調整。 母子担当課保健師と、ケース把握時点で共有を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 母子保健担当課と福祉分野が、より早期から連携できるようになった。 訪問看護分野と福祉分野が、協議の場を通して、顔の見える関係になり、より相談しやすくなった。 近隣に医療的ケア児が活用できる資源が少ないため、個々のケースを通し、関係機関に働きかけを行う必要がある。 今後、医療的ケア児コーディネーターが効果的に活動できるよう、具体的な活動を検討していく必要がある。

市町村名	活動内容		活動上の成果や課題
	概要	詳細	
新城市	・協議の場(事例検討)への参加	・協議の場において、事例検討を中心に行うことで、支援方法の検討、他機関との連携等を図った。 ・事例検討を通じて、地域課題への抽出や蓄積を行った。	・顔が見える関係づくりが進められ、連携して支援を行うケースが出てきた。 ・令和元年度末において研修修了者が5名となったが、コーディネーターとして協議の場への参加者は2名にとどまっている状況。 ・コーディネーターの位置づけや役割が明確ではなく、コーディネーターそれぞれの得意分野を生かせる状況に無いため、ライフステージに応じた支援体制となっていない。
東海市	・協議の場への参加 ・個別支援会議への参加 ・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加	・協議の場で地域課題への提言や、新規事業案についての提案を行った。 ・市役所内の個別支援会議へ参加し、関係課との調整を行った。 ・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。	・地区担当の保健師として、医療的ケア児の退院カンファレンスへの参加を呼びかけられるが、コーディネーターとしての役割は浸透していないと感じる。 ・地域を超えてのネットワークがないため、困難事例への対応の相談先がない
大府市	令和2年度設置予定	設置予定のため調整中	設置予定のため調整中
知多市	・協議の場への参加 ・個別支援会議への参加 ・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加 ・医療的ケア児の訪問支援	・協議の場で地域課題への提言や、新規事業案についての提案を行った。 ・市役所内の個別支援会議へ参加し、関係課との調整を行った。 ・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。 ・退院後の医療的ケア児宅を訪問し、生活状況や福祉サービス等申請状況の確認を行った。	・退院カンファレンスに参加したことにより、退院初日から必要な福祉サービスの利用や医療機器の使用がスムーズにできた。 ・困難事例の相談先がない
知立市	・コーディネーター養成研修への参加 ・個別相談対応	・コーディネーター養成研修へ参加し知識の向上を図った。 ・個別に相談があり対応した。	・コーディネーター養成講座への参加はしているが、具体的な役割や位置づけ等がなく、協議会なども開催の予定がない。
尾張旭市	・医療的ケア児への家庭訪問、面談の実施 ・個別支援会議への出席 ・市内医療的ケア児の全数把握	・児童や家庭の現状把握及び課題の抽出。 ・医療的ケア児の就園及び就学についての情報共有及び今後の方針について協議。 ・市内の医療的ケア児の把握及び関係部署との共有。	・医療や福祉と連携して必要な支援(訪問看護、児童発達支援)につなげることができた事例があった。 ・ライフステージに応じたきめ細やかな支援や具体的な見通しを保護者や関係機関と共有することの難しさがある。
高浜市	・協議の場への参加 ・個別支援会議への参加 ・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加	・協議の場で地域課題への提言や、新規事業案についての提案を行った。 ・市役所内の個別支援会議へ参加し、関係課との調整を行った。 ・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。	・市内のNICUのある病院へコーディネーターの活動について案内をしたところ、医療的ケア児の退院カンファレンスへの参加を呼びかけられ、退院初日からヘルパーの利用ができるよう調整を行うことができた。
岩倉市	・個別支援会議への参加 ・個別ケース会議への参加 ・保健所主催の会議に参加	・市役所内の個別支援会議へ参加し、関係機関との連携、調整を検討した。 ・支援機関へのつなぎや情報提供を行った。 ・保健所が主催する医療的ケア児に関する会議に参加した。	・医療的ケア児が利用できる社会資源(障がい福祉サービス事業所等)が少ない。 ・困難事例の相談先がない。
豊明市	・協議の場の企画および参加 ・個別支援会議への参加 ・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加 ・相談支援専門員への助言	・市内の医療的ケア児コーディネーター研修受講者(5名)を集め、市内の現状の共有を行った。 ・市内の医療的ケア児のリストアップ、現状の情報収集。 ・医療的ケア児の母が集まるサロンに参加。 ・医療的ケア児とその家族が対象のイベント「かけはしキッズ」への参加協力 ・災害時の避難所対応について、市防災担当課に現状を確認。	
日進市	・協議の場への参加 ・個別支援会議への参加	・協議の場で地域課題の共有を行った。 ・個別支援会議に参加し、対象児についての情報提供や意見交換を行った。	・具体的な事例が少なく、地域課題のイメージが湧きにくい。
田原市	令和2年度設置予定		
愛西市	・協議の場への参加・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加	・市役所内の個別支援会議へ参加し、関係課との調整を行った。 ・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。	医療的ケア児の退院カンファレンスへ参加、障害児が1歳に満たない乳児だったため、在宅での訪問看護や事業所での発達支援や短期入所等の受入れ調整が難しかった。
清須市	・家庭訪問 ・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加	・節目での発達確認や地域の子育て支援、福祉サービスについて助言した。 ・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。	・医療的ケア児の退院カンファレンスへ参加し、退院後の調整について関係機関で情報共有をし支援に繋ぐことができた。
北名古屋市	・担当者会議の開催 ・相談対応	・担当者会議を開催し、関係機関との調整を行った。 ・関係機関からの相談対応	・地域の学校での受け入れ調整を円滑に進めるためのノウハウがないことが課題。
弥富市	・圏域内各市町村単位での協議の場の運営 ・圏域内での協議の場の運営	・個別のケースは各市町村単位で行っていくことを決定した。 ・各市町村単位で課題や対応策、情報共有を行い、3市町村単位で協議している。	* 今後の課題が多いため、以下のことを検討していく必要がある。 ・各市町村単位で行うことと、3市町村で行うことの課題整理が必要。 ・出生から関わっていける仕組み、保育・教育・学校を支えるためのネットワーク作り、そのための位置づけが必要。 ・協議会として行うのであれば、医療にも参加してもらうことが必要。また、各市町村の部会で行うのか？全体で行うのかも、併せて検討が必要。 ・中途障害を含むフローチャート作りが必要。

市町村名	活動内容		活動上の成果や課題
	概要	詳細	
みよし市	・協議の場への参加 ・個別支援会議及び退院時カンファレンスへの参加	・協議の場に参加し、事例検討や地域課題に関する検討を行った。 ・医療的ケア児等の個別支援会議や退院時カンファレンスに参加し、調整を行った。	・医療的ケア児等の支援に携わり、個別の調整を行うことができた。 ・コーディネーターが様々な機関に所属しているが、それぞれが担う役割を明確化できていない。
あま市	・協議の場への参加 ・個別支援会議への参加	・協議の場で地域課題への提言や、新規事業案についての提案を行った。	
長久手市	医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加	医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、在宅生活に必要な福祉サービス、子育て支援について情報提供を行った。	・市内の医療機関の退院時カンファレンスへ参加することができた。 ・医療的ケア児の退院後の生活のイメージや利用可能なサービスについて関係者間で情報共有ができた。
東郷町	自立支援協議会こども部会への参加 退院時のカンファレンスに参加する予定 福祉サービスの担当者会議に参加する予定	こども部会に参加し、医療ケア児の現状について話し合った。	医療ケア児が活用できる福祉サービスが少ないこと、就園や就学に向けた体制がなく、今後の構築が必要であることを話し合った。
豊山町	豊山町部会(相談支援事業所、保健センター、町福祉課の参加する障害福祉サービスに関する会議)への参加	豊山部会(相談支援事業所、保健センター、町福祉課の参加する障害福祉サービスに関する会議)へ参加し、関係課との調整を行った。	
大口町	現時点では対象児の相談がなく、特定の活動・役割はありません。		
扶桑町	・協議の場への参加 ・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加	・協議の場で関係団体との情報共有、連絡を行った。 ・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に向けて調整等を行った。	医療的ケア児の人数が少ないため、保健センターで把握ができています。年齢に見合った支援ができるよう情報交換、共有を行ったことで次の支援者に繋げやすくなった。
大治町	・家庭訪問 ・協議の場への参加	・発達支援部会にて、圏域の医療的ケア児の状況や課題について協議を行った。	・課題として、医療的ニーズを満たす預かりの場の不足、レスパイトケアの充実、人材(看護師・教職員の養成)と医療設備の導入があげられる。
蟹江町	・協議の場への参加 ・個別支援会議への参加 ・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加 ・海部南部圏域のコーディネーター打合せへの参加	・協議の場で対象者の把握及び情報交換を行った。 ・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院後の在宅でのサービス調整や訪看との連携を行った。 ・状況に応じて訪問等を行った。	・対象者の把握を行った。 ・就学時の受け入れ先との調整が課題である。早い時期から調整を行っていく必要がある。 ・関係機関との連携が課題である。
飛島村	個別支援会議への参加	・サービス担当者会議や支援者会議への参加	・事例が少ないため、課題が出た時の対応や判断が難しい。
阿久比町	・協議の場への参加 ・医療的ケア児の状況把握、情報共有 ・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加 ・圏域こども部会への参加	・協議の場やそれ以外の時でも、町内医療的ケア児の状況把握、情報共有を行った。 ・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。 ・圏域こども部会で、地域課題の共有、意見交換を行った。	・町内医療的ケア児については、まんべんなく状況を把握できている。 ・児発利用希望に際し、スムーズな案内・申請を行うことができた。 ・町内だけでは解決できない課題がある(通院可能な病院が近くにない、など)
東浦町	・協議の場への参加 ・個別支援会議への参加 ・通所事業所見学の同行 ・指定特定相談支援事業所へのフォローアップ及び連絡調整 ・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加 ・保健所主催の医療的ケア児対象の防災研修会等への参加 ・町内医療的ケア児のいる家庭への家庭訪問 ・訪問看護事業所に対し、医療的ケア児コーディネーターの周知と協力依頼	・協議の場で地域課題の提言。 ・役場内の個別支援会議へ参加し、関係課との調整を行った。 ・通所事業所への見学に同行し、利用希望事業所との連絡調整を行った。 ・相談支援を行う指定特定相談支援事業所へのフォローアップ及び連絡調整を行った。 ・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。 ・圏域を管轄する保健所主催の医療的ケア児対象の防災研修会への参加。 ・町内在住の在宅の医療的ケア児への家庭訪問を行い、福祉サービスの紹介及び家庭の状況や課題の聞き取りを行った。 ・町内医療的ケア児への訪問看護に入っている事業所への医療的ケア児等コーディネーターの自己紹介及び町の医療的ケア児の相談窓口や支援体系の周知とともに、情報共有等の今後の協力を依頼した。 ・町内の訪問看護事業所は児童を受け入れていないが、町としての課題を伝え協力を依頼した。	成果 ・令和2年度から医療的ケア児ワーキングを立ち上げ、保健所及び町内訪問看護事業所が参加することとなった。 課題 ・町内・町外を含めた医療機関との連携ができていない。 ・町としての医療的ケア児の窓口や支援体系の周知が不十分。 ・地域の保育園・学校へ通いたい希望を支援する仕組みがない。 ・町内に医療的ケアを含めた重度障害状態の児童を受け入れる通所・訪問の医療・福祉サービス資源がない。
南知多町	協議の場への参加	協議の場で、事例検討を行った。	
美浜町	・協議の場への参加 ・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加 ・医療的ケア児の退院後の家庭訪問	・協議の場で医療的ケア児のケース検討を行った。 ・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。 ・医療的ケア児の退院後に家庭訪問し、生活状況の聞き取りや利用できるサービスについて助言した。	・コーディネーターの発案により退院後の医療的ケア児の家庭への訪問が実現し、困りごとの聞き取り・解決するためのサービス導入の調整をすることができた。 ・コーディネーターである保健師が他部署へ異動して活動できなくなることがあり、コーディネーターの確保が課題。
武豊町	令和2年度設置予定		
幸田町	・協議の場への参加 ・幸田町医療的ケア児在宅支援事業実施時の調整	・協議の場で地域課題への提言や、当事者の意見を伝えた。 ・幸田町医療的ケア児在宅支援事業の利用調整、対象者のアセスメントの実施。	・協議の場で医療的ケア児の現状を話し合う中で、幸田町独自の新規事業が立ち上がった。 ・当事者の意見を伝えることで、新規事業を利用しやすいものにするために改善できた。

市町村名	活動内容		活動上の成果や課題
	概要	詳細	
設楽町	<ul style="list-style-type: none"> ・協議の場への参加 ・個別支援会議への参加 ・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加 ・圏域内のコーディネーターの勉強会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・退院前に認定調査に同行し、保護者の要望や必要な支援を確認し、町の制度等の変更を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な支援、日常生活用具を利用できる体制が整った。
東栄町	対象者が不在のため活動実績なし。		
豊根村	配置未定(対象児なし)		